

# 服装頭髪等の規定

服装は端正清潔を旨とし、伊商生にふさわしい容姿を保つこと。

## 1 男子

### (1) 制服

指定の学生服を着用することを原則とする。

※6月～9月は学生服を着用しないことを原則とするが、気候（気温の状況）により、この時期に学生服を着用しても良い。

※学生服を着用しない時は、指定の校章マーク付き白のワイシャツ（長袖・半袖）を着用する。ただし、指定の校章マーク付き白・紺のポロシャツを着用することもできる。

### (2) セーター・ベスト・カーディガン

冬季（11月～3月）は学生服の下に着用しても良い。色は、黒・紺・灰とする。また、冬季（11月～3月）以外でも、気候により着用してもよいが、その際には必ず学生服を着用すること。セーター・ベスト・カーディガン等で授業を受けることや登下校しないこととする。

（注意）フード付きは禁止する。（学生服の裾・袖からはみ出ないものとする）

### (3) コート類

華美でない色・柄のコートを着用する。丈は、指定学生服の上着を覆い隠せるものとする（ハーフコートも可）。

### (4) 手袋・マフラー・ベルト等

華美なものを避けること。

### (5) 履物

①上履き 指定のものを着用すること。（氏名を外側のかかと、内側の甲の部分に黒マジックで明記）

（注意）

・必要事項（氏名・学年・クラス・クラス内番号）以外の落書きをしないこと。

・カカトをつぶして履かないこと

②下履き 黒または茶色の革靴もしくは華美でない運動靴を着用する。

（注意）

・カカトをつぶして履かないこと

・次の靴は認めない。

(a)先のとがったもの (b)ブーツ (c)エナメル・メッシュ

(d)ヒールが高いもの (e)下駄・サンダルまたはサンダル風のもの

(6) 靴 下 色は黒・紺・灰・白で標準型とする。ワンポイントは認める。

### (7) 頭髪

清潔さを保つこと。パーマ・脱色・染色・着色・その他頭髪の加工は禁止する。奇抜なスタイルは禁止する。

（注意）

生得的な理由により、何らかの加工を希望する場合は申し出を行う。

### (8) 化粧

化粧をすることは禁止する。

### (9) 装飾品

ネックレス・ブレスレット・ピアス・サングラス・カラーコンタクトレンズ・指輪等の装飾品を身につけることは禁止する。

（注意）

眼科医等から治療の為にカラーコンタクトレンズ・サングラス等の使用を勧められている場合は、その旨申し出ること。

### (10) 通学用カバン

学習用具が入る程度の大きさのバッグとする。

## 2 女子

### (1) 制服

指定の制服を着用することを原則とし左胸に校章を付ける。

スカート丈は膝の皿が隠れる長さとする。

スラックスの着用も認める。

※6月～9月はブレザーを着用しないことを原則とするが、気候（気温の状況）によりこの時期にブレザーを着用してもよい。

※上着（ブレザー）を着用しない時は、原則としてベストを着用することとし、指定の校章マーク付き白のブラウスまたは半袖シャツを着用すること。ただし、指定の校章マーク付き白・紺のポロシャツを着用することもできる。（ポロシャツ着用時は、ベストの着用はしない）

(2) セーター・ベスト・カーディガン

教室での暖房器具使用時はセーター・カーディガン等の着用を認める。色は黒・紺・灰とする。その際にはブラウスの襟が出るものとする。セーター・カーディガン等で授業を受けることや登下校はしないこととする。ベストは本校指定のものに限る。

(注意)

- ・セーター・カーディガンの裾や袖がブレザーからはみ出ないようにすること。
- ・フード付きは禁止する。

(3) コート類

華美でない色・柄のコートを着用する。丈は、制定学生服の上着を覆い隠せるものとする。(ハーフコートも可)

(4) 手袋・マフラー

華美なものを避けること。

(5) 履物

①上履き 指定のものを着用すること。(氏名を外側のかかと、内側の甲の部分に黒マジックで明記)

(注意)

- ・必要事項(氏名・学年・クラス・クラス内番号)以外の落書きをしないこと。
- ・カカトをつぶして履かないこと。

②下履き 黒または茶色の革靴もしくは華美でない運動靴を着用する。

(注意)

- ・カカトをつぶして履かないこと
- ・次の靴は認めない。
  - (a)先のとがったもの
  - (b)ブーツ
  - (c)エナメル・メッシュ
  - (d)ヒールが高いもの
  - (e)下駄・サンダルまたはサンダル風のもの

(6) 靴下類

①ストッキング 肌色・黒とする。

②ソックス 色は黒・紺・灰・白で標準型とする。ワンポイントは認める。標準型(長さも含めて)のソックスとし、ハイソックスも標準型であれば認める。

(7) 頭髪

清潔さを保つこと。パーマ・脱色・染色・着色・その他頭髪の加工は禁止する。奇抜なスタイルは禁止する。

(注意)

生得的な理由により、何らかの加工を希望する場合は申し出を行うこと。

(8) 化粧

化粧(カラーリップ・アイシャドウ・マスカラ・マニキュア・ペディキュア・ファウンデーション等)をすることは禁止する。

(注意)

医療上、止むを得ず化粧の必要のある場合には、申し出を行うこと。

(9) 装飾品

ネックレス・ブレスレット・ピアス・サングラス・カラーコンタクトレンズ・指輪等の装飾品を身につけることは禁止する。

(注意)

眼科医等から治療の為にカラーコンタクトレンズ・サングラス等の使用を勧められている場合は、その旨申し出ること。

(10) 通学用カバン

学習用具が入る程度の大きさのバッグとする。

3 異装許可について

怪我その他止むを得ぬ理由のため、上記規定以外の服装を必要とする生徒は所定の手続きを経て「異装許可」を求めること。

4 その他

(1) 休業日等に登校する際には制服を着用すること。

(2) 儀式(卒業式・入学式・開校記念式・始業式・終業式)の際のソックスは黒・紺の標準型とする。また、原則として更衣期間中におけるポロシャツの着用も認める。